

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	第二尚花愛児園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 三田 常恵	定員（利用人数）：	90（118）名
所在地：	223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西1-16-27		
TEL：	045-542-2004	ホームページ：	http://dai2-shoka-aijen.jp/
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 仁成会		
職員数	常勤職員： 24 名	非常勤職員：	5 名
専門職員	保育士 25 名	栄養士	0 名
	看護師 0 名	調理員	5 名
	用務員 0 名		
施設・設備の概要	居室数： 保育室6室、調理室、事務保健室、和室、園庭、シャワーブース、多目的トイレ、体育館	設備等：	冷暖房、空気清浄機、エレベーター、駐車場、外階段

③理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <p>◎社会福祉施設としての使命感を持ち、事業の社会的重要性に鑑み叡智を持って応えていく。</p> <p>◎高齢化社会、福祉社会を担う、心身共に逞しく心優しい青少年を育成するために情操保育（教育）を基本としている。</p> <p>【保育方針】</p> <p>『明るくバイタリティーのある、思いやりに満ちた豊かな心を持った子どもを育てる』</p> <p>* 圏外の保育資源を発掘し、地域の保育力を最大限に活用して豊かな保育を展開する。</p> <p>* 家庭と連携し共通理解の基に子育てを行いながら、保護者に子育ての素晴らしさを再認識してもらう。</p> <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探求心と意欲をもって行動する力を養う。 ・ 豊かな人間関係を築き社会性を養う。 ・ 自然に親しみその恩恵に気付き自然を大切にする。
--

④施設・事業所の特徴的な取組

第二尚花愛児園は、保育方針に「明るくバイタリティーのある、思いやりに満ちた豊かな心を持った子どもを育てる」を掲げ、保育士、栄養士、看護師が三位一体となって保育を進めています。定員は90名（0～5歳児）です。東急東横線綱島駅から徒歩で7分ほどの位置にあります。鼓隊演奏を始めとした本園である尚花愛児園での保育をベースに、天然芝の園庭や自然豊かな環境に囲まれ、伸び伸びと楽しく過ごすことができる認可保育園です。園庭でははだし保育を行い、またクライミングもできます。近くには自然豊かな公園が多く散歩コースに恵まれています。鼓隊演奏では一つの目標に向かって頑張ろうとする協調性、忍耐力、集中力を見につけていきます。保育の中で、英語、ダンス、体操、習字、礼儀作法、知育教育を行うほか、園のある地域は古くから栄えてきた地域であるため、地域の伝承遊びや暮らしの中に生きてきた生活習慣、四季折々の伝承行事を大切に保育に取り入れることを特色としています。七五三の行事では近隣の神社にお参りに行きます、近隣のお寺に鐘の音を聞きに行ったり、またお正月には地域の獅子舞が園に来てくれます。この様に地域の伝統行事に積極的に参加するなど、地域の多くの方に生まれ子どもたちは大きく成長していきます。さらに伝統的な梅干しつくりやたくあんつくりお米の栽培、しそジュースつくりなど多くの体験をしながら豊かな感性を育てる保育をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月9日（契約日）～ 2023年3月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2016 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆多くの体験を通して子どもたちの社会性、主体性、感性を育てています

園では季節や行事に合わせて、クラスごとにテーマを決めて製作活動を行っています。7月には七夕、風鈴、11月にはみの虫などのテーマ設定で製作し保育室に展示しています。3～5歳児クラスからは英語、体操、ダンス、習字、4歳～5歳児クラスは鼓隊、礼儀作法、知育教育（バスで行く園外保育）を日ごろの保育に取り入れています。運動会、発表会、展示会、にこにこ祭り等の行事も子どもたちに意見を聞きながら行っています。地域との関係も良好で、七五三や花まつりなどで近隣の神社に行くこともあります。獅子舞が園に来てくれるなど地域の方のあたたかい協力があります。

◆職員に階層別に求められることが明示されています

キャリアパスモデルには階層別の期待する職員像が示されています。階層別に求められる「役割と責任」「業務」「専門知識・保育実践に必要な技術」「能力」「取組姿勢」などが示され、職員の間で共有されています。職員会議では外部の不適切事例の検討を通じ、キャリアパスに示す職員像を確認する機会としています。キャリアパスに応じて園内研修を行うとともに、階層別に必要な外部研修に職員を参加させています。また、目標管理は「職員年度目標実施報告」を通じて行っています。保育実践の目標管とともに、研修目標も併せて管理すると、人材育成面でも効果が上がりますので、検討してはいかがでしょうか。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

通常業務の中で行っている事を振り返ることができたこと、新人保育士含め、職員は園で行っていることの内容を知る機会や意味を理解する機会となったように感じる。問われていることの応えを考えながら、大切にしていくことや、求められることへの理解ともなったのでよかった。これからも求められることを意識に入れながら、よい所は伸ばしたり、問題点は園全体で改め、行事や、日々の保育、保護者への対応など大切にしていくことを念頭に置きながら業務に取り組むようにしていきたいと感じました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり